

五月ばかりなどに山里に歩く いとをかし(枕草子より)

本日は大雨の中、全校行事である「キャリアサプリーデー」とし、探究学習および各学年クラスの親睦を含め、名古屋方面、東北信方面散策、大学見学に出かけています。雨の状況が心配ですが、5月の最後を、各地の「いとをかし」を感じながら現地の空気感を味わってほしいです。これから梅雨へ。標記は今話題の「枕草子」の一節ですが、高校時代にもっと勉強しておけばよかった！と感じながら、美しい言葉で綴られた四季のうつろいの表現にあらためて感動しながら、雨も風も全てがいとおしく、そして、日常を顧みれば生徒の1つ1つの行動や日々の出来事を、慈しみながら過ごしたいと思うところです。●昨年に続き、日常に特別なものではなく文化芸術が漂う風景。5月15日から3日間のお昼休み、吹奏楽部、軽音岳部から有志が正面玄関でミニコンサートを開きました。皆に見てもらうことも成長の1つです。心から拍手を送る生徒の温かさにも触れ第2回も今からとても楽しみです。●週末から運動部の県大会も始まり、**陸上部は北信越大会へ複数の競技で駒を進めることができました。おめでとうございます！**●心せわしい毎日ですが、図書館からお借りした本があまりにも面白く一気読み！「**成瀬は天下を取りにいく**」(著:宮島未奈)本屋大賞にもなりましたね。主人公の成瀬あかりという人物の、破天荒ながらも一直線さに驚き感動し涙し笑い、生きづらさに悩む高校生の姿を応援している自分、そして私たち大人も共感できる部分がたくさんある傑作でした。ぜひたくさんの人にすすめたい本です。●昇降口には4月の入学式で演台回りを彩った鉢植えたちが、園芸委員会の生徒の手入れもあり2か月過ぎる中でも美しく咲いています。生徒の愛を感じる風景がここにもありました。

